



愛知県赤十字血液センター

献血推進課

波多野 浩也（入社6年目）

### 赤十字との出会いはいつ、どこででしたか？

大学三年次に卒業生の就職活動報告書内で見つけたことがきっかけです。

当時は公務員志望でしたが、赤十字の「苦しんでいる人を救いたい」との思いに強く惹かれました。学生時代のボランティア経験から、人の役に立てる仕事をしたいと思っていた為、赤十字の理念や事業を調べるうちに「私がやりたい仕事はこれだ」と思い、職員を志しました。

### 現在の仕事は？

献血バスの運転と献血受入業務です。平日は企業や学校、土日祝は商業施設やイベント会場などへ赴き、必要な血液数を確保すべく、受付や呼び掛けを行っています。

大型自動車免許は入社三年目に取得しました。元々はペーパードライバーでしたが、日々の業務や有事の際にも活かせると思い取得しました。献血バスは県内各地を訪れるので、私生活では行けない場所を知れる面白さもあります。

※献血バスや献血ルームでの勤務はシフト制のため、土日祝日に出勤することもあります  
が、その場合は平日が休日となります。

### 1日の仕事の流れ（例）

8:00 出社  
献血バスや献血会場で必要なパソコン機器・備品の準備をします。

8:30 献血バスが血液センターを出発  
献血会場・出発時間は毎日異なります。

9:00 献血会場到着  
会場設営を行い、受付を開始します。

12:00 午前の受付終了、昼休み  
会場近くの飲食店を利用することもあります。

13:00 午後の受付開始

16:00 受付終了  
撤収作業を終え、血液センターへ戻ります。

17:30 血液センターに到着  
翌日の会場の打ち合わせや献血バスの片づけをします。

18:00 退社

19:00 帰宅

23:00 就寝

### 思い出に残るエピソードは？

コロナ禍で献血者数が減少し、血液在庫量が逼迫した際、献血者に電話での協力依頼を行いました。その際、多くの方から「協力するよ」と温かい言葉をいただきました。実際、会場には予定を大きく上回る方にお越しいただき、ご自身の時間を割いてご協力くださる献血者の方の優しさに感銘を受けました。



## メッセージ

私は医療職ではないので、直接患者さんを救うことはできません。ですが日々の業務に取り組むことで、「人の命を救うことに繋がる」と感じられ、大きなやりがいとなっています。赤十字の仕事は献血以外にも多岐に渡りますが、いずれも「苦しんでいる人を救いたい」との思いが根底にあります。

苦しんでいる人を救うため、皆さんも我々と一緒に働いてみませんか？

